



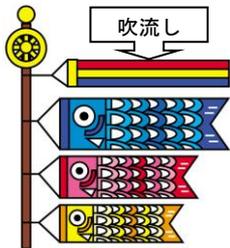
八幡小だより

北九州市立八幡小学校
校長 田頭 麗宏



吹流し 五月の風を 蹴りに蹴る 山口 誓子

今年のゴールデンウィークは、風雨が強い日もあれば快晴の日もあるなど、移り変わりが激しく不安定な天候が続いたように感じます。また、5連休の終わりに合わせるかのように、



高炉台公園のツツジの花も見頃を終えたようです。

全国的に「我慢のゴールデンウィーク」が叫ばれる状況でしたが、福岡県内でも感染増加の勢いが止まりません。「まん延防止等重点措置」の適用要請がなされており、近日中に結果が出る見通しです。とりあえず、感染者の多い福岡市と久留米市だけが対象ですが、北九州市への広がりも想定されます。今日、明日の登校後、また土日を迎えます。これまで同様、感染防止に向けたご配慮をお願いいたします。

今月は、さわやかな気候の中、さわやかな気持ちで学校生活に取り組みせたいと考えています。もちろん、次第に日差しが強くなり、気温が上がる時期でもあります。熱中症などには十分注意していきたいと思えます。

新しい学校行事のスタイルで！

『1年生を迎える会』を実施しました(4月30日)



2年ぶりの全校集会「1年生を迎える会」は、新たな学校行事のあり方についてチャレンジする意味合いもありました。児童数(場合によってはプラス保護者数も)と施設の広さ、そして活動内容を考慮しながら行事を計画しなければならない以上、どうすれば安全かつ充実したものになるか工夫することが必要です。

今回は、体育館に入る人数を少なくするために、1年生とお世話の6年生が基本的に体育館に入り、残りの子どもたちは教室でライブ映像をテレビで見るとしました。そして、歓迎の出し物をする時に順々に体育館

に入るという「ドライブスルー」方式で、密を防ぐようにしました。『全校』集会といっても、全員が一堂に会することのないスタイルですが、教室でも集中して集会に参加している様子が見られました。準備をがんばった

6年生を中心に、楽しい会にしたいという全校の子どもたちの気持ちが、今回の「混合型(ハイブリッド型)」集会を成功させる原動力になったと感じました。

例年なら、その後は歓迎遠足となるのですが、まだ自由な飲食はできないのでお弁当は諦め、高炉台公園に「きょうだい学年」で散歩に行きました。これも、現状で可能な活動の工夫と言えるのではないのでしょうか。雨雲の動きを確認してから活動し始めたのであまりゆっくりできませんでした。それぞれ楽しく過ごすことができました。

運動会の延期が決定しました

大変残念ですが、現状ではやむを得ない判断だと考えます。くわしくは、今日配布したお知らせプリントをご覧ください。

子ども読書の日
今年も読み聞かせもできました
本来「子ども読書の日」は二十三日ですが、本校では今年度、四月二十七日の一・二校時に実施しました。各自が好きな本を読んだり、上級生が下級生に読み聞かせをしたりと、楽しく本に触れ合う時間を過ごしました。
北九州市では、「読書好き」の子どもたちを増やすことに力を入れています。本校でも同様です。毎日少しずつでもいいので、気軽に本を手にとって、読書する習慣を身につけてほしいものです。読解力はもちろんのこと、豊かな情操を培う上で、読書の及ぼす影響は大きいと言われています。

